

第5回「琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会」議事録

日時：平成18年10月24日（火） 14:00～16:30

場所：建設技術センター 2階研修室

【議事次第】

- 開 会 -

1. 昨年度協議会の経過報告
2. 今年度の実施方針
 - ・今年度の検討事項及びスケジュール
 - ・浸水危険度マップ（洪水ハザードマップ）作成
 - ・情報伝達、情報内容の見直し
 - ・避難勧告技術基準（避難の目安となる指標）作成
 - ・浸水危険度マップ（高頻度版）の公表と活用
 - ・都市計画のマスタープランへの反映について
 - ・危機管理演習について
3. 討議
 - ・学識経験者及び各市からのご意見
4. その他

- 閉 会 -

[配付資料]

- 資料 - 1 昨年度協議会の経過報告
- 資料 - 2 第4回協議会 議事録
- 資料 - 3 平成18年度 水害に強い地域づくり協議会 実施方針
- 別紙資料 - 1 避難勧告技術基準の事例紹介（郡山市）
- 別紙資料 - 2 洪水等に関する防災情報体系のあり方について
- 別紙資料 - 3 小河川を対象とした避難の目安となる指標の設定方法
- 別紙資料 - 4 草津市域浸水のおそれのある区域図、草津川浸水想定区域図
- 別紙資料 - 5 [草津市の建築物の洪水対策に関する条例]に関する説明資料
- 別紙資料 - 6 草津市洪水ハザードマップづくりワークショップ

【議事メモ】

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 昨年度協議会の経過報告

資料-1について、事務局より説明

(2) 討議

資料-3について、事務局より説明。検討項目毎に討議を実施。

【決定事項】

当協議会に於ける下記の検討項目及び本年度のスケジュールについて確認し了承された。今後は担当者会議に於いて各々の項目に対する検討結果について、次回の協議会に図るものとする。

- ・浸水危険度マップ（洪水ハザードマップ）作成
- ・情報伝達、情報内容の見直し
- ・避難勧告技術基準（避難の目安となる指標）作成
- ・浸水危険度マップ（高頻度版）の公表と活用
- ・都市計画のマスタープランへの反映について
- ・自主防災組織について、その活性化のための取り組みの方針

【報告内容及びご意見】

浸水危険度マップについて

草津市をモデル市として洪水ハザードマップ版を作成する。

ワークショップの実施に当たり協議会として、洪水発生メカニズム、ハザードマップのたたき台及び掲載すべき情報などについて支援を行った。

住民意見聴取のためのワークショップについての報告

草津市では、現在、住民意見聴取のためのワークショップを実施しており、その途中経過について草津市より報告があった。

住民の方には洪水の発生メカニズムなどを理解してもらうと共に、避難場所、避難経路などの情報提供を行ってもらった。

今後は、非常時及び平常時の行動計画について考えた頂き、洪水ハザードマップに反映させていくことを考えている。

情報伝達、情報内容の見直し

情報伝達手段のラジオ、テレビは？

一般のラジオ、テレビの外ケーブルテレビ等も含めて考えている。

現状における情報伝達手段の整備状況でどの程度カバーできているか評価すべき。

提案されている情報内容については耳からの情報についてであり、目からの情報内容についても考えてみるべきである。

専門用語については分かり易い表現になるよう工夫すること。

避難勧告技術基準（避難の目安となる指標）作成

野洲市をモデル市として避難勧告技術基準作成の支援を行う。

野洲川では基準点が一箇所だが、複数基準点を設けるのか？

複数箇所水位観測所はあるが基準点が野洲地点の一箇所であることから、この地点に換算したものを提供する。

避難基準の水位と洪水警報などの基準とは関連がありますか？

両者については整合を図る必要があります。

来年度以降にレーザープロファイラーデータが得られることから、県管理区間において流況解析が可能となり、今後の避難基準を検討する上での基礎資料が整理されると考えられる。

草津市では市で独自の雨量観測所を上流に設置しており、その雨量から避難指示を出している状況である。

浸水危険度マップ（高頻度版）の公表と活用

公開する際には「都市計画用」と「農政用」と違いを明確にすると共に、見やすいよう河川名などを追加記入する。

マップに記載されている浸水範囲の算定に用いたポンプ排水等の計算条件を示す。

公開した草津市以外についても事務局で作成支援を行う。

都市計画のマスタープランへの反映について

都市計画のマスタープランへの反映とは、具体的にどういうことを考えられているか。

所有者の方の私権を制限しない範囲内でマスタープランの中に記述する程度と
考えている。具体的には本編の図表か、あるいは、付表として載せる。

情報提供と安全な土地利用への誘導としてこれらをマスタープランの一部として
位置づけて欲しい。

自主防災組織のその活性化

自主防災組織の整備率が各市で大きく異なっており、なにか根本的な要因があるのか？

新規の住宅地については自治会組織ができてその後が続かない現状がある。

(栗東市)

学区内でモデル防犯組織などを設定し、それを他の町内及び学区に広げていければと考える。(草津市)

組織を動かすには強力な指導が必要。

危機管理演習について

危機管理演習については以下の点を整理し、後日実施の是非を含めて担当者会議などで議論する。

- ・各市で対応できる演習項目やシナリオ
- ・住民参加の際の対象や目標

【その他】

ため池の防災対策について

- ・滋賀県の農村振興課で検討が進められており、その結果について後日協議会の方に報告してもらう。

条例について

- ・草津市から[草津市の建築物の洪水対策に関する条例]について報告があった。

5. 閉会

以 上